



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東  
 コード番号 9997 URL http://www.belluna.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	74,863	12.3	4,231	34.5	5,531	—	4,333	—
29年3月期第2四半期	66,679	7.3	3,145	1.2	△802	—	△827	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4,553百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △2,404百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	44.56	—
29年3月期第2四半期	△8.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	187,307	89,785	47.4
29年3月期	179,024	87,773	47.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 88,788百万円 29年3月期 84,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
30年3月期	—	6.25	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	6.25	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	9.5	13,000	19.5	13,500	10.8	8,800	51.6	90.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	97,236,456株	29年3月期	97,236,456株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	496株	29年3月期	20株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	97,236,197株	29年3月期2Q	97,236,788株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、底堅い企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しておりますが、海外の政治・経済情勢により先行きは不透明な状態となっております。通信販売業界におきましては、市場の拡大は続いているものの、個人消費の節約志向は根強く、また、競合企業が増加していることから価格競争が激化しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力4事業（総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業）の強化に取り組んで参りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は74,863百万円（前年同期比12.3%増）となりました。営業利益は総合通販事業での増益や店舗販売事業での収益性改善などにより4,231百万円（同34.5%増）となりました。経常利益は為替相場の変動による利益が前年とは逆にプラスとなったため5,531百万円（前年同期は経常損失802百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,333百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失827百万円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、社内の経営管理区分の一部変更として、(株)マイムにて行っている衣裳レンタル事業について、報告セグメントを「店舗販売事業」から「その他の事業」に区分を変更しております。以下の前期比較につきましては、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## 〔総合通販事業〕

衣料品・家具雑貨等の売上が好調で、売上高は37,232百万円（同9.1%増）となりました。また、セグメント利益は増収効果に加えて媒体費率の改善もあり、1,093百万円（同4.8%増）となりました。

## 〔専門通販事業〕

グルメ事業の売上が好調だったことにより、売上高は20,483百万円（同9.1%増）となりましたが、健康食品事業・化粧品事業等での積極的な広告展開により、セグメント利益は714百万円（同6.1%減）となりました。

## 〔店舗販売事業〕

アパレル店舗事業・和装店舗事業共に順調に売上を伸ばしたことで、売上高は7,287百万円（同18.5%増）となりました。セグメント利益も不採算店の閉鎖及び収益性の強化により590百万円（同517.7%増）となりました。

## 〔ソリューション事業〕

通販代行サービスは堅調に推移したものの、大口クライアントの取引縮小で封入・同梱サービスが苦戦したことにより、売上高は2,931百万円（同6.2%増）、セグメント利益は1,180百万円（同9.5%減）となりました。

## 〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は1,690百万円（同12.2%増）、セグメント利益は723百万円（同34.1%増）となりました。

## 〔プロパティ事業〕

販売用不動産の売却及びホテル事業の売上が貢献し、売上高は3,519百万円（同93.1%増）となり、セグメント利益は513百万円（前年同期はセグメント利益18百万円）となりました。

## 〔その他の事業〕

卸売事業等で売上を伸ばし、売上高は2,202百万円（同17.9%増）となりましたが、衣裳レンタル事業の季節要因によりセグメント利益は453百万円の損失（前年同期はセグメント損失457百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比941百万円増加し、85,734百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,213百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が762百万円、営業貸付金が1,035百万円、商品及び製品が2,885百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比7,341百万円増加し、101,573百万円となりました。これは主に建設仮勘定が6,165百万円、投資有価証券が941百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比8,283百万円増加し、187,307百万円となりました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比5,282百万円増加し、45,635百万円となりました。これは主に未払法人税等が1,417百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,413百万円、短期借入金が4,623百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比988百万円増加し、51,886百万円となりました。これは主に長期借入金が1,152百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比6,271百万円増加し、97,522百万円となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比2,012百万円増加し、89,785百万円となりました。この結果、自己資本比率は47.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、3,250百万円減少し、16,165百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,251百万円(前年同期は1,711百万円の減少)となりました。主たる増加要因は、税金等調整前四半期純利益6,021百万円、減価償却費1,250百万円、仕入債務の増加1,516百万円などであり、一方で、営業貸付金の増加1,031百万円、たな卸資産の増加2,631百万円、法人税等の支払額2,845百万円などが主な減少要因であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、7,212百万円(前年同期は8,200百万円の減少)となりました。主たる減少要因は、有形固定資産の取得による支出9,149百万円、投資有価証券の取得による支出1,527百万円などであり、一方で、有形固定資産の売却による収入2,890百万円などが主な増加要因であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、2,674百万円(前年同期は7,378百万円の増加)となりました。主たる増加要因は、短期借入金の純増額4,623百万円、長期借入れによる収入2,985百万円などであり、一方で、長期借入金の返済による支出1,799百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出2,226百万円などが主な減少要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、平成29年5月11日の公表から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,176	16,963
受取手形及び売掛金	9,668	10,431
営業貸付金	18,962	19,997
有価証券	1,201	474
商品及び製品	15,972	18,858
原材料及び貯蔵品	1,069	822
販売用不動産	3,931	3,901
仕掛販売用不動産	6,364	6,243
繰延税金資産	743	757
その他	7,244	7,820
貸倒引当金	△542	△536
流動資産合計	84,792	85,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,314	23,298
機械装置及び運搬具(純額)	812	769
工具、器具及び備品(純額)	378	369
土地	35,563	35,999
リース資産(純額)	361	349
建設仮勘定	3,827	9,992
有形固定資産合計	64,258	70,779
無形固定資産		
のれん	3,222	2,957
リース資産	1,124	1,103
その他	8,530	8,610
無形固定資産合計	12,876	12,671
投資その他の資産		
投資有価証券	13,237	14,179
長期貸付金	1,501	1,499
破産更生債権等	220	214
繰延税金資産	733	267
その他	2,120	2,675
貸倒引当金	△717	△714
投資その他の資産合計	17,096	18,122
固定資産合計	94,231	101,573
資産合計	179,024	187,307

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,738	19,152
短期借入金	5,924	10,548
未払費用	8,806	9,321
リース債務	573	544
未払法人税等	3,003	1,586
賞与引当金	687	721
返品調整引当金	80	97
ポイント引当金	552	455
その他	2,986	3,208
流動負債合計	40,352	45,635
固定負債		
長期借入金	46,157	47,310
利息返還損失引当金	920	818
リース債務	947	945
退職給付に係る負債	42	22
役員退職慰労引当金	263	258
資産除去債務	515	519
その他	2,051	2,012
固定負債合計	50,898	51,886
負債合計	91,251	97,522
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,002	10,943
利益剰余金	63,359	67,084
自己株式	△0	△0
株主資本合計	84,969	88,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,060	1,382
為替換算調整勘定	△1,148	△1,217
退職給付に係る調整累計額	△7	△10
その他の包括利益累計額合計	△95	154
非支配株主持分	2,899	996
純資産合計	87,773	89,785
負債純資産合計	179,024	187,307

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	66,679	74,863
売上原価	29,190	33,169
売上総利益	37,488	41,694
返品調整引当金繰延差額	19	16
差引売上総利益	37,469	41,678
販売費及び一般管理費	34,323	37,446
営業利益	3,145	4,231
営業外収益		
受取配当金	127	167
為替差益	-	597
デリバティブ評価益	-	344
その他	722	533
営業外収益合計	850	1,643
営業外費用		
支払利息	58	63
支払手数料	28	4
為替差損	306	-
デリバティブ評価損	4,259	-
減価償却費	61	55
店舗閉鎖損失	6	134
支払補償費	-	53
その他	77	31
営業外費用合計	4,798	343
経常利益又は経常損失(△)	△802	5,531
特別利益		
固定資産売却益	-	987
投資有価証券売却益	7	14
特別利益合計	7	1,001
特別損失		
固定資産除却損	12	31
減損損失	78	-
有価証券評価損	-	90
投資有価証券評価損	109	370
為替換算調整勘定取崩損	-	20
特別損失合計	200	512
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△995	6,021
法人税、住民税及び事業税	217	1,329
法人税等調整額	△379	370
法人税等合計	△161	1,699
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△834	4,321
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△827	4,333



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△834	4,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△186	322
為替換算調整勘定	△1,380	△87
退職給付に係る調整額	△3	△2
その他の包括利益合計	△1,570	232
四半期包括利益	△2,404	4,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,336	4,572
非支配株主に係る四半期包括利益	△68	△18

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△995	6,021
減価償却費	1,287	1,250
減損損失	78	-
返品調整引当金の増減額(△は減少)	19	16
のれん償却額	251	264
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23	△10
賞与引当金の増減額(△は減少)	28	33
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△28	△24
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	△5
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△110	△96
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△100	△102
受取利息及び受取配当金	△297	△294
支払利息	58	63
デリバティブ評価損益(△は益)	4,259	△344
投資有価証券売却損益(△は益)	△7	△14
投資有価証券評価損益(△は益)	109	370
為替差損益(△は益)	280	△60
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△987
固定資産除却損	12	31
売上債権の増減額(△は増加)	△419	△754
営業貸付金の増減額(△は増加)	△1,014	△1,031
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,263	△2,631
販売用不動産の増減額(△は増加)	△4,145	△36
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△861	△263
仕入債務の増減額(△は減少)	2,138	1,516
その他の流動負債の増減額(△は減少)	872	1,129
その他の固定負債の増減額(△は減少)	224	△6
その他	△384	△168
小計	△978	3,863
利息及び配当金の受取額	254	287
利息の支払額	△59	△62
法人税等の還付額	18	8
法人税等の支払額	△946	△2,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,711	1,251

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△786	△879
定期預金の払戻による収入	1,183	860
有価証券の売却による収入	-	785
有形固定資産の取得による支出	△5,720	△9,149
有形固定資産の売却による収入	0	2,890
無形固定資産の取得による支出	△126	△226
投資有価証券の取得による支出	△720	△1,527
投資有価証券の売却による収入	440	365
子会社株式の取得による支出	△424	-
貸付けによる支出	△80	-
貸付金の回収による収入	10	14
差入保証金の差入による支出	△2,141	△356
差入保証金の回収による収入	9	62
その他の支出	△48	△62
その他の収入	203	11
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,200</b>	<b>△7,212</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	950	4,623
長期借入れによる収入	9,669	2,985
長期借入金の返済による支出	△2,273	△1,799
社債の償還による支出	△45	-
非支配株主からの払込みによる収入	34	19
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△2,226
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△607	△607
リース債務の返済による支出	△348	△320
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,378</b>	<b>2,674</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△495	34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,028	△3,250
現金及び現金同等物の期首残高	18,239	19,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,211	16,165

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	34,037	18,714	6,149	2,616	1,506	1,810	1,844	—	66,679
セグメント間の内部 売上高又は振替高	101	53	—	144	—	12	24	△335	—
計	34,139	18,768	6,149	2,760	1,506	1,822	1,868	△335	66,679
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,043	761	95	1,304	539	18	△457	△158	3,145

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳92百万円とのれん償却費△251百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	37,002	20,411	7,287	2,795	1,690	3,507	2,166	—	74,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	229	71	0	135	—	11	35	△484	—
計	37,232	20,483	7,287	2,931	1,690	3,519	2,202	△484	74,863
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,093	714	590	1,180	723	513	△453	△131	4,231

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳132百万円とのれん償却費△264百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内の経営管理区分の一部変更として、㈱マイムにて行っている衣裳レンタル事業について、報告セグメントを「店舗販売事業」から「その他の事業」に区分を変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。